



～夏に流行する感染症～

院長 三和 拓人

そろそろ梅雨に入る時期になりますが皆様いかがお過ごしでしょうか。この時期から増える夏に流行する感染症で受診される患者様もぼちぼち多くなってきております。これらをわかりやすく表にまとめてみました。正しい知識をもとに、これからの時期に頻度の高いお子様の病気に向き合ってください。

水いぼ(伝染性軟属腫)

原因

- ポックスウイルス科:
伝染性軟属腫ウイルス

症状

- 自覚症状はほとんどない
- 増大する際に痒みを伴う

潜伏期間

2～7週

発症

自然治癒期間

6ヵ月～4年

→ウイルスの抗体が出来れば自然治癒します



治療

- 基本的に経過観察で(そのうち自然とウイルスを退治する免疫が出来ます)
- 積極的治療なら切除、液体窒素、硝酸銀、トリクロロ酢酸、ヨクイニン内服など

Q.プールは入ってもいいですか?

A.学会の見解では大丈夫!とされていますが、それぞれの幼稚園、保育園、小学校、プール施設で取り決めがあるので、守ってください



Q.どんどん増えていくのですが..

A.水いぼをひっかく→ウイルスを含んだ浸出液が出る→ひっかいて傷になった皮膚からウイルスが侵入する→水いぼが増える。という流れで増えていきます。乾燥肌、アトピー性皮膚炎の子も皮膚のバリア機能が低下しているため増えるのが早いです。自然治癒を待つくらいなら、少ないうちに積極的に治療した方が賢明だと思います

とびひ(伝染性膿痂疹)

原因

- 水疱性膿痂疹(黄色ブドウ球菌)
- 痂疹性膿痂疹(A群β溶血レンサ球菌)など

症状

- 痒みを伴う水ぶくれ
- 水ぶくれが破れて内容物の細菌が拡大

治療

- 抗菌薬の内服、外用
- 痒みを抑える抗アレルギー薬内服、外用



荒れて皮膚のバリア機能低下

細菌侵入

痒みを伴った水ぶくれを形成

掻く事で水ぶくれが破れる

掻いた手で別の皮膚を掻く

皮膚が傷つき細菌侵入

Q.プールに入ってもいいですか?

A.ダメです。入る事により悪化させたり、他人にうつす恐れがあります。完全になくなるまでは控えてください

Q.幼稚園や保育園に行ってもいいですか?

A.ガイドラインには「登園の目安は皮膚が乾燥しているか、湿潤部位が被覆できる程度のものであること」とありますが、施設ごとに独自のルールを設けている場合もありますので、一度ご確認ください

繰り返す

Q.予防法はありますか?

- ✓ 肌を清潔に保つ事
 - ✓ 患部を掻かない
 - ✓ タオルや衣類は共有しない
- 等があります。まずは清潔を心がけましょう



参考資料: 厚生労働省「保育所における感染症対策ガイドライン」、日本皮膚科学会

手足口病

原因

- コクサッキーA16ウイルス
- エンテロウイルス71 など

症状

- 手足口の小さな水疱
- 発熱・疼痛を伴う場合もあり

潜伏期間

3~5日

発症期間

3~7日

回復期間

1~2週間



治療

- 根本的な治療(抗ウイルス薬)はない
- 皮疹や発熱、自覚症状に応じた対症療法

☆こまめな水分補給を☆

予防

- 感染経路は飛沫感染、接触感染、糞口感染(排出されたウイルスが空気中に)
- こまめなうがい、手洗い、マスク装着などの予防が効果的



Q.いつから学校に行ってもいいですか?

A.赤みが引いてきたり、発熱がなくなったら行ってもいいですよ。回復期間で人にうつす可能性はありますが、学校保健法にも定められてませんし、予防していれば問題はないと思います。

参考資料: 国立感染症研究所, CDC(アメリカ疾病管理予防センター)

皆様、早め早めの受診をお願いいたします。

医院：各務原市那加桜町 2 - 368 Tel：058-383-6800

三和皮フ科HP：<http://miwahifuka.org/>